

3 月 1 7 日（土） 東奈急行各線ダイヤ改正

東葛線八潮-野田市間開業及び上羽線複々線区間拡大

上羽線の運行形態が変わります

新多摩線の Nakyu Express が相模大野駅に新規に停車致します

東京神奈川急行電鉄

東京神奈川急行電鉄株式会社(本社:神奈川県横浜市港北区、社長:横浜未来)では、2018 年 3 月 17 日(土)にダイヤ改正を実施します。

今回のダイヤ改正では、2007 年から工事を行ってきた「東葛線(八潮-野田市間)」が新規に開業します。当路線は八潮駅から既存の松潮線(ダイヤ改正で東葛線に統合)を経由して上羽線に直通運転、一体となって運転することにより、千葉県北西部から東京都心、羽田空港へのアクセスが大幅に改善されることになります。都心側では新宿-秋葉原間の複々線工事が完了し、輸送力の増強ができるようになりました。これらにより上羽線の運行形態が変わります。

さらに、各線でライナー列車「Nakyu Express」を新設・増発するとともに、新多摩線で運転されている全列車が相模大野駅に新たに停車するようになります。これにより遠距離だけでなく、中距離利用のお客様にも着席機会を拡大します。

また、今回のダイヤ改正に合わせて、新型車両である「20000 系シリーズ」電車を各路線に順次投入します。この車両は「全てにおいて優しい車両」をコンセプトに、より一層の省エネ化、フリースペースの増設、東奈急行初の空気清浄機の設置など、環境に配慮するだけでなくお客様の居住性向上も図った車両となっております。

ダイヤ改正の詳細は別紙の通りです。



東葛線延伸区間

【別紙】

東京神奈川急行電鉄ダイヤ改正について

1. ダイヤ改正実施日

土休日ダイヤ：2018年3月17日（土）

平日ダイヤ：2018年3月19日（月）

2. 各路線改正内容

2-1. 東葛線※各駅の概要はプレスリリース参照

（1）路線名の変更

東葛線八潮～野田市間の開業に合わせ、松潮線松戸～八潮間を東葛線と統合します。
また、松潮線の愛称で使用していた「水元パークライン」の使用を取りやめます。

（2）東葛線運転概要

1. 列車種別

下記の種別・停車駅で運転致します。（Nakyu Express は上羽線の項に記載）

東奈特快・**通勤東快**（東葛線内は停車駅共通）

停車駅：松戸・八潮・越谷レイクタウン・野田市

全列車上羽線へ直通運転

特急

停車駅：松戸・八潮・越谷レイクタウン・松伏ゆめみ野・野田市

急行

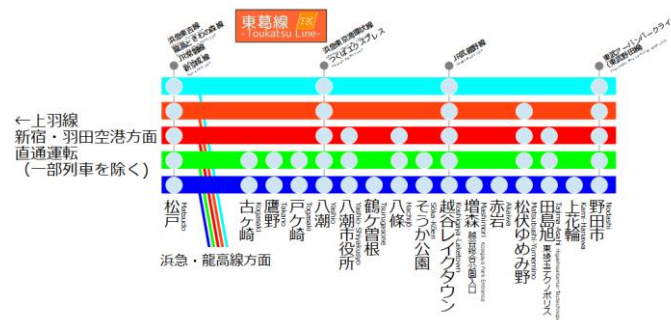
停車駅：松戸・八潮・八潮市役所・八條・越谷レイクタウン・松伏ゆめみ野・
田島旭・野田市

準急

停車駅：松戸・古ヶ崎・鷹野・戸ヶ崎・八潮・八潮市役所・八條・そうか公園・
越谷レイクタウン・松伏ゆめみ野・田島旭・野田市

各駅停車

停車駅：各駅



参考：東葛線路線図

II.直通運転

大多数の列車が上羽線新宿・羽田空港方面と直通運転を行います。

(※早朝・深夜時間帯を中心に松戸駅折返しの列車もございます)

III.運行形態

日中時間帯、1時間当たりの運転本数

東奈特快 (羽田空港～野田市 6両※1)	1～2本 (40分間隔)
急行 (羽田空港～野田市 10両)	3本 (20分間隔)
準急 (新宿～越谷レイクタウン 8両)	3本 (20分間隔)
各駅停車 (羽田空港～野田市 8両)	6本 (10分間隔)

※1 6両編成は松戸で龍ヶ崎高速鉄道線直通列車と分割・併合

IV.その他

- ・ラッシュ時間帯は八潮駅及び松伏ゆめみ野駅始発・終着の列車を運転します。
- ・八潮駅・八條駅・越谷レイクタウン駅・松伏ゆめみ野駅で緩急接続を行います。

2-2. 上羽線

(1) 龍高線龍ヶ崎方面の直通を相互直通運転に変更・増発

20000系交直流電車の運用開始に伴い、従来龍高線車両のみ直通運転を行っていた龍ヶ崎発着列車に奈急車両を導入します。従来の朝・タラッシュ時は全列車を新宿・羽田空港発着にした上で増発を行い、日中時間帯も新たに直通列車を運転します。

東奈特快：日中80分間隔(40分毎に千葉ニュータウン中央行きと交互に運転)

※羽田空港～松戸間6両編成の野田市発着列車を併結

朝ラッシュ時：**急行**をメインに約10分間隔で運転

タラッシュ時：**特急**をメインに約15分間隔で運転

(2) Nakayuu Expressの新規設定

従来設定がなかったライナー列車「Nakayuu Express」を上羽線・東葛線で新たに設定し、着席機会を向上させます。

運行区間：**東葛線野田市駅**・**龍高線龍ヶ崎駅**～**上羽線新宿駅**

基本停車駅 **(東葛線)**：野田市・松伏ゆめみ野

基本停車駅 **(龍高線)**：龍ヶ崎・龍高高柳・松戸

基本停車駅 **(上羽線)**：松戸(龍高線直通列車のみ)・秋葉原・新宿

上り列車のみ停車駅：飯田橋・市ヶ谷

下り列車のみ停車駅：浅草・越谷レイクタウン

着席整理券：３００円（松戸駅からのみ１５０円）※小児運賃の設定はありません

上り列車は秋葉原駅から、下り列車は龍高柳駅・越谷レイクタウン駅
以降から着席整理券不要でご乗車できます。

使用車両：２０００系６両＋４両編成、３０００系１０両編成

※龍高線直通列車は松戸駅で４両を増解結します。

運行本数：

	運行区間	運行本数
朝ラッシュ時	野田市→新宿	６本(４本は６両を松戸で増結)
	龍ヶ崎→新宿	４本
夕ラッシュ以降	新宿→野田市	１１本(４本は６両を松戸で解結)
	新宿→龍ヶ崎	４本

※龍ヶ崎高速鉄道線内での取扱や運転時刻は[浜急線公式ホームページ](#)をご確認下さい。

(３) 運行形態変更

- ・従来の八潮駅発着列車の大多数を東葛線野田市駅まで延長運転します。
 - ・八潮駅発着の東奈特快を、龍高線方面列車と野田市行き列車の二層建て列車として運転します（松戸駅で増解結作業を行います）。
 - ・東葛線方面～新宿駅を結ぶ準急列車を新設します。
- これにより新宿～浅草間は各駅に止まる列車が５分間隔で運転されます。

●日中の運行本数・運行区間

エアポート東奈特快 (羽田空港～浜急線成田空港 ２ドア１０両)	１～２本 (４０分間隔)
東奈特快 (羽田空港～野田市 ６両) (羽田空港～龍ヶ崎・千葉 NT 中央 ４両) ※１	１～２本 (各 ４０ 分 間隔)
特急 (羽田空港～東吉線吉川 １０両)	３本 (２０分間隔)
急行 (羽田空港～野田市 １０両)	３本 (２０分間隔)
準急 (新宿～越谷レイクタウン ８両)	３本 (２０分間隔)
各駅停車 (羽田空港～東吉線吉川 １０両)	３本 (２０分間隔)
各駅停車 (羽田空港～野田市 ８両)	６本 (１０分間隔)

※１ 交互に運転（各方面８０分間隔/奈急線内４０分間隔）

(4) 運行種別の整理

通勤特急の運転を取りやめます。

また、以下の種別の停車駅を見直します。

特急：新たに目黒駅・市ヶ谷駅に停車致します。

準急：中川大橋駅・上矢切駅は**通過となります**。

(5) 特定日に茨城方面への直通列車を運転

年末年始・長期休暇シーズン・GWなどを中心に、浜急線吉川駅経由で茨城臨海高速鉄道（I R K T）線阿字ヶ浦方面への臨時直通列車を運転します。

上羽線内は**東奈特快**として運転します。

<p>下り（阿字ヶ浦方面）</p> <p>羽田空港 5：45 発→松戸 6：24 発→阿字ヶ浦 8：05 着</p> <p>羽田空港 10：10 発→松戸 10：47 発→阿字ヶ浦 12：25 着 ※</p>
<p>上り（羽田空港方面）</p> <p>阿字ヶ浦 16：25 発→松戸 17：50 着→羽田空港 18：31 着 ※</p> <p>阿字ヶ浦 20：35 発→松戸 22：08 着→羽田空港 22：54 着</p>

※羽田空港～吉川間は定期列車の行先・種別を変更して運転します。

※今回の改正で予定しておりました一部列車の長編成化(12両編成化)は、増備車両の落成が遅れている為、実施時期が決まり次第改めてご案内致します。

なお、繁忙期などの一部列車には先行して運転を開始する予定です。

2－3. 新多摩線・湾岸線

(1) Nakayama Expressの停車駅追加・増発

・全列車が相模大野駅に停車します。

停車駅一覧：拝島・八王子・橋本・**相模大野**・渋谷・六本木・(愛宕虎ノ門)・東京・秋葉原・北千住 ※愛宕虎ノ門は東京方面行きのみ停車

・朝に1本（拝島 7：00 発）を増発します。

・夕方（18時台以降）時間帯以降 22時台まで 30分間隔で運転します。

・深夜帯に1本（東京駅 24：00 発）増発します。

(2) 速達列車の増発

朝ラッシュ時に15両編成の東奈特快を2本増発します。

これにより、渋谷駅 8時台到着の東奈特快を8本とします。

その他、一部列車の行先・種別・時刻を変更します。

2-4. 横池線

(1) Nakyu Express 増発

早朝の外回り長津田→品川行き列車を2本増発（6：00発・6：37発）し、オフピーク通勤を促します。また24時台に池袋発長津田行き列車を新設（24：00発）し、深夜時間帯も快適に帰宅できるようになります。

なお一般列車に関しましても、一部列車で行先・発車時刻の変更を行います。

2-5. 中山線・公園線

各線のダイヤ改正に伴い、一部列車の発車時刻を変更します。

3. 新型車両（20000系シリーズ）について

通勤型としては5000系以来の車両として、交直流車両20000系電車を、直流専用車両21000系・25000系車両を各線に順次投入します。

「全てにおいて優しい車両」をコンセプトとし、LED照明を使用・最新のVVVF装置を搭載することで省エネルギー化を促進するだけでなく、客室内においてもフリースペースの増設や空気清浄機の設置、各席に電源コンセントを設置※し、車内居住性の向上を図った車両となっております。

※コンセントは20000系・21000系のクロスシート運用時に使用可能

20000系・21000系はロングシートとクロスシートを入れ替えられるデュアルシート車として落成し、優等列車・「Nakyu Express」を中心に運用予定です。

25000系はロングシート車両として落成し、老朽化した8500系電車を中心に置き換えを進めます。

以上